

教科・科目	対象学年	単位数	教科書（発行者）	補助教材（発行者）
地理歴史 ・ 地理総合	2年 文系日史探 究世史探 究選択者,理系, 音楽コース	2	高等学校新地理総合 (帝国書院) 新詳高等地図 (帝国書院)	高等学校新地理総合ノート(帝国書院)
科目の概要と 目標	社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。			
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> 教科書や資料集を用いて基本的な知識の定着を図るとともに、地理的な見方や考え方を培う。 地図・資料・データからその特徴を読み取り、課題を見つけて多角的に考察する。 			
評価の観点と 方法	科目の目標がどの程度達成されたか、また、目標達成に向け自主的・積極的に取り組んだかを次の観点から評価する。 ①授業への取り組みでは、「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 ②定期考査では、科目の到達目標を踏まえた問題で、「知識・技能」「思考・判断・表現」を評価する。 ③課題、小テストでは「知識・技能」「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。			
	学期	単元・学習項目	学習内容・到達度目標	
年 間 授 業 内 容	1 学 期	第1部 地図でとらえる現代世界 第1章 地図と地理情報システム 1節 地球上の位置と時差 ① 地球上の位置と私たちの生活 ② 時差と私たちの生活 2節 地図の役割と種類 ① 地球儀と地図 ② 身の回りの地図 ③ 統計地図の種類と利用 ④ 地理情報システムの活用 第2章 結び付きを深める現代世界 1節 現代世界の国家と領域 2節 グローバル化する世界	1部 【第1章の目標】 ①日常生活の中でみられるさまざまな地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解する。現代世界のさまざまな地理情報について、地図や地理情報システムなどを用いて、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付ける。 ②地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ③地図や地理情報システムについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。 【第2章の目標】 ①現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きなどについて理解する。 ②現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現する。 ③現代世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。 2部 【第1章の目標】 ①世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。 世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。 ②世界の人々の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ③生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	
	2 学 期	4節 歴史的背景と人々の生活 5節 世界の産業と人々の生活 第2章 地球的課題と国際協力 1節 複雑に絡み合う地球的課題 2節 地球環境問題 3節 資源・エネルギー問題 4節 人口問題 5節 食料問題 6節 都市・居住問題	【第2章の目標】 ①世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解する。 世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が必要であることなどについて理解する。 ②世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題	

期		<p>を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>③地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</p>
3 学 期	<p>第3部 持続可能な地域づくりと私達 第1章 自然環境と防災 1節 日本の自然環境 2節 地震・津波による災害 3節 火山災害と防災 4節 気象災害と防災 5節 自然災害への備え 第2章 生活圏の調査と地域の展望 1節 生活圏の調査と地域の展望</p>	<p>3部 【第1章】</p> <p>①我が国をはじめ世界で見られる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解する。さまざまな自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について、その情報を収集し、読み取り、まとめる地理的技能を身に付ける。</p> <p>②地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>③自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</p> <p>【第2章】</p> <p>①生活圏の調査を基に、地理的な課題の解決に向けた取り組みや探究する手法などについて理解する。</p> <p>②生活圏の地理的な課題について、生活圏内や生活圏外との結び付き、地域の成り立ちや変容、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、課題解決に求められる取り組みなどを多面的・多角的に考察、構想し、表現する。</p> <p>③生活圏の調査と地域の展望について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</p>